



令和7年度入園に向けて

金竜幼稚園の魅力！

伸び伸びと遊ぶ中で、思考力、コミュニケーション能力、体力など様々な力を培います。

ビオトープや“森の小道”、畑で豊かな自然体験ができます。

区内で1番広い校庭で思いきり体を動かして遊べます。

意図的・計画的で質の高い教育が受けられます。

教育目標

人権尊重の精神を基に、心と体のたくましい幼児を育てる。

みてきいて じっくり心で感じる子 はずんでわらって 手をつなぐ 自然が大好き 金竜の子

金竜幼稚園で経験できること

一人一人に応じた教育環境の中で、興味・関心を高め、お子さんの力を伸ばします。

◆主体性を育む豊かな遊び

- 思わずやってみたくなる環境や素材を用意し、イメージを実現していく楽しさを味わえるようにします。
- 自分のやりたいことにじっくり取り組む中で、工夫したり、試したりしながら遊べるようにします。

◆様々な人との関わり

- 学級や異年齢の友達と関わる中で、自分の気持ちの出し方を学んだり、友達の思いを受け入れたりする経験を積み重ね、自己肯定感や他者への思いやりの気持ちを育てます。また、友達と協力して1つのことをやりとげる満足感や達成感を味わえるようにします。
- 小学生と触れ合ったり、授業の様子を見たりして、小学校生活へのあこがれの気持ちを育みます。
- 挨拶、順番を守る、善悪の区別など、社会のルールや規範意識を身に付けられるようにします。

◆地域や家庭との連携

- 直接体験をすることで、遊びや興味の幅を広げていきます。
- 様々な活動を通して、人と関わる楽しさを味わったり、地域への親しみをもったりできるようにします。

☆金竜幼稚園では、遊びや生活の中で、このような経験を積み重ねていきます。

☆教員は様々な研修や研究会に参加して、お子さんの理解を深めたり、遊びの環境を工夫したりするなど、日々専門性を磨き、遊びの充実に努めています。



金竜幼稚園で育てたい子供像は？

大人に言われた通りに行動するのではなく、自分で考え、判断し、行動できる主体的な子供を育てたいと思います。幼児期に育む主体性は、変化が急速で予測困難なこれからの時代を「生きる力」の土台になっていきます。自分でやりたいことを見付け、繰り返し遊ぶこと、試したり考えたり、工夫したりしながら遊ぶこと、ときには葛藤する体験などの積み重ね等を通して、主体性や思考力、他人を思いやる心、体力、あきらめない心など、様々な力をバランスよく育てていきたいと考えます。

「質の高い遊び」とは？ 遊びを中心とした保育のよさは？

子供が「おもしろい！」と夢中になり、さらにおもしろくしようと「人・もの・こと」に主体的に関わる遊びを質の高い遊びと捉えています。対象への関わりが深まるにつれて遊びのおもしろさが増し、子供の興味・関心もさらに高まります。この循環の中で子供たちは発達に必要な経験をしていきます。

この過程の中で、子供が困ったり、遊びが停滞したときに、教員は子供の様子を遊びの状態をよく見て必要なことに気付かせるような言葉を掛けたり、必要なものをさりげなく提示したりしながら援助をしていきます。教員の適切な援助があることで、遊びは発展し、多様化していきます。

小学校以降の教科学習とは違い、最大限に自己発揮できるゆとりがある幼児期の遊びは、この時期だからこそできる学習方法です。**遊びの中で多くのことを学べるようにしています。**

<幼稚園教育要領の5領域> **これらの力を遊びの中で総合的に培います。**

- 「健康」 (運動機能、調整力、基本的な生活習慣、安全など)
- 「人間関係」 (人への親しみ・あこがれ、人と関わる力、自立心、規範意識など)
- 「環境」 (好奇心や探究心、数量や図形、文字への関心など)
- 「言葉」 (聞いたり話したりする力、想像力、挨拶など)
- 「表現」 (感性、表現力、工夫する力など)



<幼稚園の主な遊び>

毎日の様子は
ホームページを
御覧ください。

創造的な活動 (ごっこ遊び・構成遊び・造形活動など)
音楽的な活動 (歌・楽器遊び・リズム遊び・身体表現など)
運動的な活動・ルールのある遊び (ゲーム・鬼遊び・ボール遊び・縄遊び・巧技台遊び・固定遊具など)
自然体験活動 (園庭、校庭、ピオトープの自然環境との関わり、飼育物・栽培物との関わり、園外保育など)
視覚言語的活動 (絵本・紙芝居・パネルシアター・ブラックライトシアターなど)
行事への取り組み (KINRYU2023、遠足、生活発表会、もちつき その他)
金竜小学校との連携 (日々の交流、行事・授業への参加)

文字や数字は教えないのですか？

ワークシートを使って文字を教える時間はありませんが、たとえば「手紙を書きたい」「お店の看板がほしい」など、子供の必要感に応じて、一緒に書いたり、書き方を知らせたりしています。

また、畑で採れた玉ねぎの数を数えたり、じゃがいもの重さを比べたり、椅子を片付けるときに5脚ずつ重ねたりするなど、数や重さの感覚も生活の中で養っています。これらは幼児教育の基となる「幼稚園教育要領」の中にも示されています。

幼児期には、知識を増やすことよりも自分から「学びたい!」「知りたい!」という気持ちを育むことが大切です。この意欲が小学校の学習はもちろん、生涯にわたって主体的に学ぶ姿につながっていきます。

幼稚園の一日（3歳児の生活）



朝の挨拶をして1日がスタート！

8：50 登園する

所持品の始末をする

自分で選んだ遊びをする



「自分で支度できるよ」



好きな遊びの時には、積み木で家やお店を作ったり、紙や空き箱を使って好きなものを作ったり、園庭で遊んだり…自分の好きなことをじっくりと楽しめます。



10：40ごろ
片付ける

学級みんなで
する活動を楽しむ



片付けの後は、踊り、楽器遊び、描画、ゲーム、運動遊び…学級のみんなと一緒に遊びます。



11：50ごろ
昼食

校庭や園庭で遊ぶ



「みんなで食べるとおいしいね」



小学校の校庭や体育室、2階にある園庭でも思いきり体を動かして遊びます。

降園時の活動をする

降園する



毎日、絵本や紙芝居を楽しみます。

保育時間について ※3 歳児の降園時間の変更時期は年度によって変わります

3 歳児入園当初 8 時 50 分～11 時 40 分（～5 月上旬）
※入園後、慣らし保育として 11 時降園の日が 2 日程度あります。

<弁当ありの日>

3 歳児 8 時 50 分～13 時 10 分（5 月上旬～）
 8 時 50 分～13 時 40 分（7 月上旬～）
 8 時 50 分～14 時 00 分（9 月上旬～3 月）

4、5 歳児 8 時 50 分～14 時 10 分

<午前保育の日> （月に数回）

3 歳児 8 時 50 分～11 時 40 分
4、5 歳児 8 時 50 分～11 時 45 分

<ワクワクデー（延長保育）について>

月に各学年 1、2 回程度、延長保育を行っています。（希望者のみ・無料）

ワクワクデーに出席するときは、おやつと水筒（水かお茶）持参、16 時降園となります。

※3 歳児は令和 7 年度は 11 月から開催します。（15 時 30 分まで）

服装について

園指定の園服（夏服期間 6 月～9 月）・紺半ズボン・園帽子

※登園後、園服を脱いで遊びます。

※園服の下に着る服は自由ですが、自分で脱ぎ着のしやすい、汚れてもいい服を着てきてください。

弁当給食について

令和 7 年度から、アレルギーや宗教上の理由から弁当持参が必要な場合を除き、週 5 回の弁当給食を実施しています。給食費については、令和 6 年度より弁当給食の無償化の恒久化を実施しているため、保護者負担額はありません。

※ 午前保育の日は提供はありません。（預かり保育利用者を除く）

預かり保育（あさがおタイム）について **利用には、事前に登録が必要です。**

令和 7 年度から、区立幼稚園 10 園全園にて就労型の預かり保育を実施しています。

対象：就労等で保育の必要がある幼児

（就労の他、妊娠出産※利用できる期間は要問合せ、介護、病気等）

○定期登録利用：各学年 定員 7 名

週 5 日または月 20 日就労している方、優先的に利用できます。

○非定期登録利用、一時利用もあります。

※一時利用は、登録不要ですが利用要件に制限があります。

令和 5 年 9 月から保護者の方のリフレッシュ目的でも使えるようになりました。

（年間の利用回数 12 回まで）

実施日：平日（長期休業期間中を含む）

※年始年末、8 月中旬の園閉鎖期間（お盆のころ 土日を入れて 5 日間程度）、土曜日に行う行事の振替休業日（年間 3 回）等、平日であっても預かり保育を実施しない日があります。

また、台風やインフルエンザ等で幼稚園が休園になった場合も実施しません。

時間：8:50～最大 18:00（※勤務終了時間による）

※通勤場所が遠く、時間がかかる場合は、8:30～8:50 に登園可（園と相談の上、決定）

定員：30 人/1 日

※非定期利用枠は 30 人から定期利用枠を引いた人数になります。

（例）定期利用が 17 人いた場合、非定期利用枠は 13 人

※令和 7 年 5 月現在 現 3 歳児 定期利用枠 6 名 残り 1 名

現 4 歳児 定期利用枠 7 名 空き無し

現 5 歳児 定期利用枠 6 名 残り 1 名

（最新情報は園に確認してください）

職員体制：保育士 3 名 台東区より委託された事業者が保育を行います。

利用料金：平日 日額 520 円

長期休業期間 日額 1400 円（弁当給食代含む）

場所：基本的に幼稚園遊戯室

おやつ：家庭から持参していただきます。（生ものの以外。クッキー、せんべい、パンなど）

その他：親子遠足、土曜参加参観、保護者会、PTA 活動など、保護者の方が参加する行事があります。

親子苗植えや個人面談はおむかえの時間に合わせてできるようにしています。

諸費について（令和7年度）

○保育料 令和元年度10月より 無償となっています。

○その他 月 2990 円

（内訳）

幼稚園に払うもの 毎月 教材費 800 円、月刊絵本代 440 円

PTA に払うもの 毎月 PTA 会費 1000 円、修了積立金 750 円※

（※学年で多少異なることがあります）

※弁当給食費は、令和7年度も台東区が継続して支援を行っているため、徴収していません。

※諸費はゆうちょ銀行で毎月1日に引き落とします。

※遠足代等 その都度現金で集めるものもあります。

○用品代（令和7年度） ※価格や内容が変わることもあります

園服 （冬用 6,000 円 夏用 2,400 円）

園帽 （冬用 3,000 円 夏用 3,000 円）

紺パンツ 2,200 円 ※令和4年度から丈が少し長いものにモデルチェンジしました。
きょうだいのものなど、以前のものを履いてもかまいません。

園かばん 4,000 円

体操着 （長袖 2,100 円 半袖 1,850 円）

カラー帽子 640 円 ゴム印 330 円 ※ひらがな印のみ

※4、5歳児入園の方は、この他にはさみ、サインペンの購入があります。

クレパス、名札は教材費から支出します。

入園までの手続きについて

（参考：昨年度）

10月末ごろ 募集案内・入園申込書 配布開始

11月上旬～中旬ごろ 入園申込受付（オンライン受付と2日間）

11月30日午後 新入園時健康診断（健康診断・遊びの様子・園長面接）

1月上旬 入園内定通知 送付

★令和7年度入園できる幼児

新3歳児…令和3年4月2日から令和4年4月1日までに生まれた幼児

新4歳児…令和2年4月2日から令和3年4月1日までに生まれた幼児

新5歳児…平成31年4月2日から令和2年4月1日までに生まれた幼児

★台東区に居住していること。

（参考：昨年度）11月初旬ごろ各クラスの募集人数を各幼稚園掲示板及び台東区公式ホームページに掲載されました。10月頃、区報「たいとう」詳細が載り、園のホームページにも日にちを掲載しました。

金竜幼稚園 Q & A

これまでに多かった質問についてお答えします。

Q：おむつが取れていません。入園までに取らなければいけませんか？

A：おむつが取れていなくても入園できます。しかし、毎日同じ時間にトイレに誘う、トイレでおしっこが出たときの心地よさに共感するなど、家庭でも少しずつ練習していきましょう。個人差が大きいため、お子さんに応じてトイレトレーニングを進めていくことが大切です。幼稚園と連携しながら、6月のプール遊びが始まる時期を目標に進めていきましょう。（プール遊びまでにおむつがとれていないときは、個別にたらいで水遊びをします）

Q：親がいないと大泣きすると思いますが大丈夫でしょうか？

A：新しい生活やおうちの人と離れることに不安を感じ、入園当初に泣くお子さんは大勢います。5月の連休明けに泣くお子さん、夏休み明けに泣くお子さんもいます。我慢せず、たくさん泣いて大丈夫です。子供たちが幼稚園は泣いたり怒ったり、「ありのままの自分を出していいところ」と思えるように、園の先生との信頼関係をつくっていきます。個人差はありますが、5月ごろになると、気に入ったものや場を見付けて安心して過ごす姿が増えていきます。

Q：絵本バッグなどの持ちものは、手作りをしなければいけませんか？

A：お子さんが使いやすいサイズで用意してもらっています。事前にお知らせしますので、だいたい同じサイズであれば既製品で大丈夫です。

詳しくは2月の新入園児保護者会でお伝えしますが、早くに知りたい方は声を掛けてください。

Q：みんなで集まることを嫌がります。幼稚園では大丈夫でしょうか？

A：入園前の時期は、興味のあることを自分のペースでしたい時期です。幼稚園に入園したら、お子さんの興味に合った絵本や紙芝居、リズムダンス等を取り入れながら、集まって何かをする楽しさを知らせていきます。一人一人のペースで集団での生活に慣れていくようにしますので、他のお子さんとは比べてあせらないことも大切です。Q：登園するときに、自転車を使ってもいいですか？

A：通園範囲が広いので、自転車通園の方が多いです。（小学校との共同の自転車置き場に限りがあるので登録制にしていますが、ゆずりあって使っていただいています。）

ただし、歩くことで次のような効果が期待されますので、幼稚園としては家のまわりなどで歩く経験を増やすことをおすすめしています。

○足腰が丈夫になり、体の動かし方が巧みになる。（体の動かし方が巧みになると、転んだときにも怪我をしにくくなったり、とっさにものを避けたりできるようになります）

○横断歩道の渡り方、安全に渡れるかどうかの判断力等が身に付く。

なにより、道端の花を見たり、その日のことを話したりするなど、親子の会話ができる大切なひとときです。

小学校入学はまだ先のように思うかもしれませんが、身に付くまでに時間のかかることですので、入学に向けて、少しずつ歩く機会を増やしていくといいと思います。

この他にもご質問がありましたら、どんなことでも園にお電話ください。

入園に向けて心配なことの相談、質問、見学のお申込みは

3871-9896（職員室） 園長 山中 まで御連絡ください。